

国際博物館の日記念



河鍋暁斎記念美術館

企画展「暁斎 その交流さまざま」展

会期：2017年5月1日（月）～6月25日（日）

河鍋暁斎記念美術館の
HPへはこちらから↑

開館時間：10時～16時 [休館日：毎週木曜、6月26日～30日]

入館料：一般320円、中～大学生210円、小学生以下105円、団体要予約（20名以上）

先月に引き続き、暁斎が知人の為に描いた絵や合筆した作品、弟子たちの作品などをご覧ください。

6月に入り、掛軸をほぼ全て入れ替えて、柴田是真や小林永濯らと暁斎が合筆した掛軸「節婦奇女」や山岡鉄舟が賛を記した暁斎の掛軸「電信柱」、さらには、北海道の名付け親・松浦武四郎（1818-1888）に宛てて暁斎が記した手紙なども展示しております。

幕末から明治半ばにかけて、暁斎と時代を共にした人たちとの交流を示す作品の数々をお楽しみ下さい。

「戯画 鬼」 暁斎筆 明治12年（1879） 校合摺

画中に「明治十二卯月 勝安房先生 応需図之正田氏使」と記されており、暁斎が正田氏の仲介によって勝海舟（1823-1899）の注文を受けて描いた戯画ということがわかります。海舟と暁斎の合筆作品は見つかっていませんが、海舟が暁斎に戯画を依頼したことがわかる、興味深い作例です。なお、『諸家書画帖』（河鍋暁斎記念美術館蔵）には暁斎の鴉図などと共に、海舟による書の版画が収められています。



2ヶ月がたち、笑顔で楽しい毎日です くるみ保育園長 松本 麻紀

木々の緑がまぶしい季節となりました。保育園の小さな畑に今年も野菜の苗を植え、子どもたちが毎日水やりをして成長を楽しみにしています。「水をあげなきゃいけないけど、あげすぎてもいけないんだって」と先生に伝えられたことをお迎えに来たお母さんに教えている場面に出会い、嬉しく、頼もしくなりました。

先日、年長さんは東松山のこども動物自然公園に遠足に行ってきました。とってもいいお天気に恵まれ、ポニーに乗ったりモルモ

ノットやウサギを抱っこしてにこにこ。そしてもうひとつのにこにこはお弁当！！お友達と見せ合ったりしながらしあわせそうに食べていました。

今月は園全体でお弁当の日もありました。朝からお弁当袋を手に嬉しそうに登園。お昼が待ち遠しそう。初めてのお弁当というお子さんもいてママたちもどのくらい食べるのか？どんなものを入れたらいいのか？と悩まれた話も聞こえてきましたが、どのクラスも楽しいお弁当タイムでした。